関西エアポート株式会社

お 知 ら せ

2017 年 2 月 3 日

ロビーコンサート「アンデスのしらべ」

関西エアポート株式会社では、2017 年 3 月 3 日（金）に大阪国際空港でロビーコンサート「アンデスのしらべ」を開催します。

「コンドルは飛んでいく」など、有名な楽曲を演奏予定で、空港をご利用のお客様だけでなく、空港周辺にお住いのお客様にも楽しんでいただける内容となっておりますので、週末の夜のひとときをぜひ大阪国際空港でお楽しみください。

○ 名　　称　　ロビーコンサート「アンデスのしらべ」

○ 開催日時　　2017 年 3 月 3 日（金）　　20：05～21：00

○ 開催場所　　大阪国際空港北ターミナル 1 階「ロビーステージ」

○ 参加費用　　無　料　※事前予約不要

○ 内　　容　　「コンドルは飛んでいく」「コーヒールンバ」などの有名な楽曲を、アンデスの伝統的な楽器で演奏。
雄大な大自然に響き渡る南米の音楽をお楽しみ頂けます。
※詳細につきましては別紙チラシを参照ください。

○ 出演者　　アンデス音楽デュオ　TAKISUN（タキスン）

○ 主　　催　　関西エアポート株式会社

○ 協　　力　　大阪国際空港及びその周辺地域活性化促進協議会
大阪国際空港周辺地域活性化連絡会

【お知らせに関するお問い合わせ先】
関西エアポート株式会社
伊丹空港本部　空港利用促進グループ
Tel：06-4865-9594

大阪国際空港 ロビーコンサート

アンデスのしらべ

"The Melody of Andes" Lobby Concert at Osaka International Airport

2017年 3月 3日（金） 20:05~21:00 入場無料

大阪国際空港 北ターミナル1階「ロビーステージ」

●主催／関西エアポート株式会社
●協力／大阪国際空港及びその周辺地域活性化促進協議会　大阪国際空港周辺地域活性化連絡会

Takisunchis !

歌いましょう!

雄大な大自然に響き渡る南米の音楽フォルクローレ！
歌って、踊って〝TAKISUN〟と過ごす楽しいひととき。

〈出演〉
アンデス音楽デュオ
『TAKISUN』
フリアン トレス&マリアノ トレス

〈演奏予定曲〉
コンドルは飛んでいく *EL CONDOR PASA*
花祭り *HUMAHUAQUENO*
コーヒールンバ *MOLIENDO CAFE*
その他、TAKISUNオリジナル曲など

【お問い合わせ】関西エアポート株式会社 ITMイベント事務局
TEL 06-4865-9535（平日9:00～12:00／13:00～17:30）
http://www.osaka-airport.co.jp
大阪国際空港公式Facebookページ
https://www.facebook.com/OsakaInternationalAirport

Osaka International Airport 2017

Concierto de Folklore en Vivo

南米ペルー クスコ出身、フリアン トレス・マリアノ トレスの兄弟2人で音楽活動を行っています。
ケーナ・サンポーニャなど、アンデスの伝統的な楽器を使用し、皆様の心に響く演奏をします。

グループ名のTAKISUN（タキスン）とは、
ペルー先住民族の言葉、ケチュア語で「歌いましょう」という意味です。
TAKISUNと一緒に歌ったり、踊ったり、楽しい時間を過ごしましょう。
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

フォルクローレ！

※「フォルクローレ」とは、スペイン語で「民間伝承、民俗学、民俗音楽」を指す言葉です。「コンドルは飛んでいく」の大ヒット以来、日本では「フォルクローレ」と言えば、特にアンデス地方の伝統音楽とそこから派生した大衆音楽のジャンルを指す言葉として使われています。
フォルクローレのメロディーは、日本古来の5音階の音楽に通じるものがあり、その為に日本人の耳に懐かしさを感じさせるのかもしれません。

アンデス音楽デュオ『TAKISUN（タキスン）』

http://www.takisun-andes.com

Profile

〈フリアン・トレス・サルワ〉

ペルー クスコ出身。ペルー アレキパのLuis Dunkerla Valle音楽学校にて音楽を学ぶ。
在学中からペルー国内の様々なイベントにて 演奏を行う。
1997年、初来日。東京を中心に演奏活動。
同年、再来日。以後関西を中心に活動。
2006年、TAKISUN（タキスン）結成。関西・東海・九州を中心に演奏活動。現在に至る。
2015年、レコーディングスタジオSTUDIO TORRES（スタジオ トレス）オープン。
担当楽器：サンポーニャ・ケーナ・ボーカル等

〈マリアノ・トレス・サルワ〉

ペルー クスコ出身。フリアン・トレスの兄。
レグベルタ・メンチュ音楽学校にて1年間音楽を学ぶ。
ペルーにてアンデス音楽グループNOKJANCHIS（ノクハンチス）のメンバーとして活躍。
2000年、初来日。
2005年、再来日。
2006年、11月よりTAKISUN（タキスン）に参加。フリアンと共に演奏活動。現在に至る。
担当楽器：ギター・サンポーニャ・ボーカル等

ケーナ（左）
ケーナは主に葦、竹、木製のものがあり、エアリードといわれるフルートなどと同じ仲間の楽器です。
構造は日本の尺八とほぼ同じで、U字やV字型の歌口と口を間の空気を振動させ音を出します。
1本で3オクターブもの音を出すことができます。
歴史的には古く、紀元前から存在するといわれています。

サンポーニャ（右）
サンポーニャは主に葦や竹製で、長さの異なるものを筒状にしたものを並べ、音階になるように作られています。
通常は筒が2列になっており、上下に移動してドレミファ音階になっていて、筒の中に空気を送ることで音が発生します。
音域や大きさによって名称も4種類に分けられており、1m以上あるトヨスからサンカ、マルタ、10cmほどの大きさのチュリまで様々です。
歴史的には、ケーナよりも古く、石製や陶器製のものが遺跡から出土しています。